

第17号 トリせつ

トリせつとは…?

—鳥大説明書—

鳥取大学に関する様々な情報を取り扱い、解説していく情報紙です。学生スタッフが企画・取材をすることで、学生目線から見た鳥大の姿をお届けしたいと思います。

わたしの節約術、伝授します!

大学生になり1人暮らしを始めた人は、限られたお金の中でやり繰りをしなければならない場面も…。中には、度々金銭的なピンチを迎えてしまう人もいませんか。そんなあなたに朗報です!今回は3人の鳥大生が賢い節約術を伝授してくれました!

<p>地域学部地域学科人間形成コース 1年 M.T.さん</p>	<p>農学部生命環境農学科 1年 T.M.さん</p>	<p>工学部社会システム土木系学科 2年 O.T.さん</p>
<p>節約術 ①</p> <p>休日や授業の空き時間に自炊をして作り置きをするようにしています。調理の際に何度も電気やガスを使うことなく、料理もたくさん作れ、楽ができることが利点です。</p> 	<p>節約術 ①</p> <p>マーレ（鳥取キャンパス第1食堂）を使う日以外は自炊をします。その際、お肉は安い日にまとめ買いをして冷凍しています。そうすることで何度も買いに行かなくて済みますし、時間とお金の節約になり一石二鳥です。</p> 	<p>節約術 ①</p> <p>ノートにレシートを貼り、何にどれくらいのお金を使ったのかわかるようにしています。また、貼ったレシートを見直し、必要が無かったものに赤線を引くことで、自分の無駄遣いを検証しています。今までは気にせずお金を使っていたが、これを始めてから無駄遣いが少なくなり、1日の出費が半分近く減りました。</p> 
<p>節約術 ②</p> <p>1人暮らしなので、暖房器具はこたつだけを使うようにしています。こたつだけでも十分暖かいのでエアコンの暖房はつけていません。ガスもお風呂の時だけ使っています。</p> 	<p>節約術 ②</p> <p>お茶はなるべく自分で沸かして持って来て、自動販売機で買う回数を減らすようにしています。</p> 	<p>節約術 ②</p> <p>デジタル一眼レフカメラを買って素敵な写真を撮りたいです。</p> 
<p>節約をして貯まったお金 でしたいこと</p> <p>国内旅行がしたいです。古い町並みや城下町の風景が好きなので、小樽や金沢に行ってみたくです。</p> 	<p>節約をして貯まったお金 でしたいこと</p> <p>将来は大学院への進学も考えているので、その授業料のために貯金をしたいです。</p> 	<p>節約をして貯まったお金 でしたいこと</p> <p>デジタル一眼レフカメラを買って素敵な写真を撮りたいです。</p> 

感想 節約のための様々な工夫を知る事ができた有意義な取材でした。私も皆さんを見習って節約術を磨いて、お金を貯めたいです。(担当 木村)

将来、貯まったお金でしたいことをもっておくことが節約する習慣を継続できる秘訣だと思いました。私も節約のために何か目標を作って頑張っていきたいです。(担当 沼田)

わたしのトリくみ

学生図書館ワーキンググループ編

鳥大生のみなさん!図書館内を盛り上げるために活動している学生達を知っていますか?その学生達は“学生図書館WG”です。図書館で多くのイベントを主催している学生図書館WGのメンバーに取材してきました!



ピックアップ 活動記録

【クイズラリー】

昨年のクイズラリーは、風紋祭*とオープンキャンパスの日に開催されました。出題された問題の内容は学生図書館WGが考えたものです。子供から大人まで参加でき、全問正解すると賞品がもらえます。また、去年は絵馬の形をした付箋を用意し、参加者が書いた願い事を図書館内に飾りました。クイズラリーは学生図書館WGの主催するイベントの中でも1番盛り上がり、活動を知ってもらうきっかけになっています。



▲絵馬の形の付箋

【大学図書館学生共同交流シンポジウム】

大学図書館学生共同交流シンポジウムは、毎年9月に行われています。中国・四国地方で学生図書館WGと同様の活動をしている学生が集まり、それぞれの活動を紹介します。他大学との交流を通して新しい取り組みにつなげたり、これまでの活動を見直す貴重な機会です。実際に参加した学生図書館WGの学生は「自分たちとは違う視点で活動しており、今後の参考にしたいです。」と話していました。



▲シンポジウムの様子

【福袋】

主にハロウィンとクリスマスの時期に本の福袋をつくって貸し出しています。福袋には本のテーマが書かれたコメントカードがついています。この活動は学生図書館WGの学生や職員さんだけではなく、一般の学生がオススメする本も数冊入っています。一般の学生のオススメの本を入れるので、多くのジャンルごとに本を分けることができます。多くのジャンルの中から選ぶことができるのが、この福袋の魅力と言えます。



▲完成した福袋

学生図書館WGメンバー2人に聞きました!!

学生図書館WGのマスコットキャラクター

農学部生命環境農学科2年 **高橋 萌さん**
農学部生命環境農学科1年 **西村 千尋さん**



鳥をイメージしており、くちばしの「ト」は鳥取と図書館を表しています。

トトリ



「本の虫」という表現があるので、虫をイメージとしています。

アヤガクレ

- Q** 学生図書館WGを知ったきっかけと入った動機は?
- A** 学生図書館WGについてのポスターや、先輩方の呼びかけでこの活動に興味を持ったので入りました。
- Q** どのようなときにやりがいを感じますか?
- A** クイズラリーの活動をしているときに1番やりがいを感じます。来てくださった方々が自分たちで企画したもので楽しんでいる様子を見ると、こちらも嬉しくなります。クイズラリーは利用者の声を聞くことができる貴重な機会です。

感想 今回の学生図書館WG取材で、図書館で行われているイベントの裏側を知ることができました。私は普段図書館を利用しないのですが、今回の取材をきっかけに行ってみようと思いました。今回の取材が学生図書館WGの活動を知るきっかけとなれば幸いです。(担当 鳥居)

Pickup ～近現代美術～

ここでは筒井先生からみた近現代美術に焦点を当てた記事になっていますので、ぜひご覧ください！

1. 近現代美術の魅力とは？

近現代の美術は作品を作ったアーティストと直接会えることが魅力的です。アーティストの方と美術の現場で関わりながら作品集を出したり、アーティストについての文章を書いたりできます。実際にアーティストの方と関わりながら仕事するのが、美術の歴史について研究することとは違います。

2. なぜ大学教員の道に？

大学教員になる前は編集者でした。出版社から依頼されて文章を書くことが多かったです。私の場合は編集以外にも、展覧会を企画して、開催したり、美術史の研究をしたくて、それらを全部できそうなのが大学教員でした。

スペース・プランの展覧会

1. スペース・プランとは何ですか？

約50年前に鳥取で活動していた芸術家集団です。戦後、鳥取美術の前衛で、1968年から約10年間活動していました。鳥取砂丘の国立公園指定区域外の場所で展覧会を開催されていました。当時の美術のグループ展の中では、最も大きいグループ展で、その大きさは約4haで東京ドーム1個分弱くらいありました。

2. なぜ鳥取の美術に興味を持ったのか？

美術の雑誌にも鳥取の前衛美術について載っておらず、最初は鳥取に前衛美術はなにもないと思っていました。しかし、本当はないのか疑問に感じたのが、出発点です。調べてみると、スペースプランの他にもいくつかありました。その中でもスペースプランの展覧会は私が生まれる前で、当時の鳥取の美術はどんなものか、興味を持ちました。

3. なぜ、鳥取のスペースプランは知られていなかったのか？

スペースプランの展覧会を見た人が少なかったのが原因です。しかし、今から見ても興味深い活動なので、ギャラリー鳥たちのいえて彼らの活動を紹介する展覧会を開催できて良かったです。



▲展覧会の様子

筒井先生のオススメのコンテンツ

オススメは水木しげるさんと椋図かずおさんの作品です。特に椋図かずおさんの「わたしは真悟」という作品は名作です。連載漫画なのに、一話ごとの盛り上がりやオチがなかつたりします。これは連載漫画を越えた構想力というか、自転車操業ではないような、壮大なビジョンを考えていて素晴らしい作品です。現在、鳥取大学附属図書館にも水木しげるさんと椋図かずおさんの本があるのでぜひご覧ください！



地域学部地域学科国際地域文化コース

つつい ひろき
筒井 宏樹先生

日本近現代美術史、アメリカ近現代美術史を研究テーマに、近現代美術に関する講演会、展覧会等の開催を行っています。

感想

今回の取材を通して、芸術の実習内容を具体的にイメージできるようになりました。また、アニメや漫画からも文化などを学べるということは興味深かったです。(担当 清藤)

芸術の実習について、今回の取材で知ることができました。美術の奥深さを学ぶことができて良かったです。また、筒井先生のオススメされている本を読んでみたいと思いました。(担当 西村)

地域学部の実習とは？

実習の授業と聞くと、農学部のフィールド実習などを思い浮かべる人が多いかもしれませんが、地域学部にも実習の授業があります！今回はそんな地域学部の中でも創造性とコミュニティプログラムの実習に焦点を当て、地域学部地域学科国際地域文化コースの筒井宏樹先生と国際地域文化コース2年の吉野紗恵さんと藤森このみさんにインタビューに答えていただきました。

※**創造性とコミュニティプログラムでは実習の授業が多いのですか？**

筒井…実習の授業が多いです。この場で吉野さんと藤森さんがやっているのはデザインを専門分野にしている平井寛先生の授業で出された課題です。

吉野さんがやっているのはどんな実習ですか？

吉野…色がついた紙を用いて、その中からある規則性がある色を選



▲実習の課題

選び、限られた色のみを使って四季を再現するという実習です。その再現はほとんど各自で自由に行います。

この実習はどのくらいの時間をかけてやるものですか？

吉野…90分授業を2コマ使って完成させます。製作途中で也十分クオリティが高いにもかかわらず、みんな熱が入ってしまつて、空き時間も使って制作しています。

筒井…実技の実習の場合だと最初に課題が出て、提出した後に講評していくというパターンが多いです。したがって講評までの時間の使い方は人によって異なります。授業だけで要領よくやっていく人もいれば、吉野さんたちのように授業時間外にも頑張つてやっている人たちもいます。この辺が実習らしいところかもしれません。

創造性とコミュニティプログラムの実習にはどのようなものがありますか？

藤森…私はミュージカルの企画をしています。

ミュージカルとはどのような授業ですか？

藤森…2年生の中でやりたい人たちが集まつてやっています。声楽の西岡千秋先生とダンスの木野彩子先生に色々お世話になっています。今はミュージカルをつくるために歌を練習しています。歌がある程度歌えるようになったら、今度は振りをつけたり、小道具を作つていった

りして公演します。

このミュージカルはどこで公演する予定ですか？

藤森…公演は、鳥取市にあるわらべ館のイベントホールで毎年させてもらっています。

筒井…1日2回、昼と夕方の2回公演で両方ともたくさんの方が集まる人気プログラムです。ミュージカルの授業は、それを半年かけて作っていくという実習ですね。

最後に学生へのメッセージをお願いします。

筒井…鳥取大学では、特に地域学部の中にはいわゆる講義形式の座学だけではなく、今日紹介したような授業や他の科目など、さまざまな形の実習があることが魅力だと思います。



▲ミュージカルの様子

※創造性とコミュニティプログラム…文化と文化をつなぐアートの役割や、身体表現と豊かな生の関係、素直な自己表現を通じた他者との交わりを学ぶ国際地域文化コース内のプログラムです。

筒井先生の趣味: **アニメ鑑賞**

『アニメは教養』

Q.最近(2018年12月現在)放送されているおすすめアニメはありますか？

普遍的に通じるアニメとしては「ジョジョの奇妙な冒険」をおすすめします。ジョジョを見ること自体が授業を聞くのと同じくらい教養になるのではないかと思います。

Q.具体的にはどのあたりが教養になりそうですか？

ジョジョは荒木飛呂彦先生という生きる伝説のような方が物語を作っているのですが、荒木先生自体色々な文化的リソースがあると、おそらく美術や映画にも詳しく、ジョジョを見ることによってそのような文化などを無意識に学んでいると思います。